

2017年3月号

3月15日(水)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 246



春を待ちわびる湿原、そして…

タンチョウのつがいがか鶴居軌道跡周辺に頻繁に姿を見せるようになりました。そろそろ繁殖地を探しているのかもしれません。

雪解けが一気に進み、フキノトウが顔を出し始めました。春の足音を感じる今日この頃ですが、いよいよ新しいビジターセンターのお披露目も近づいてきました。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ヤチボウス】
 雪解けが進み、ヤチボウスが今年も姿を現しつつあります。春になるとこの頂部に、今年のスゲ類が生長し始め、緑色の葉が生い茂ります。



【キヌヤナギ(花芽)】
 ヤナギ科 絹柳
 鶴居軌道沿いのヤナギが白い綿を膨らませています。ヤナギ類がこの状態になると、「春が近づいてきたなあ」と感じます。



【ホロムイツツジ】
 ツツジ科 幌向躑躅
 ミズゴケ湿原の積雪の間から、赤茶色の葉をつけた群落が顔を出しています。よく見ると葉の下に花芽があり、4月に花を咲かせます。



【エゾシカ】
 蝦夷鹿 シカ科
 雪解けが進み、山際の植物を目当てに移動したのか、鶴居軌道沿いで頻繁に見かけるようになりました。数頭の群れで行動します。



【ケヤマハンノキ(花芽)】
 カバノキ科 毛山樺の木
 ハンノキ類の花芽がかなり目立つようになってきました。もう少しすると、雄花から花粉を飛ばすようになります。



【カラタチゴケの仲間】
 サルオガセ科
 ハンノキに垂れ下がっていて海藻のような見た目ですが、地衣類の一種です。この他にも釧路湿原には様々な地衣類が見られます。

○表紙の写真 上:ヨシ湿原とタンチョウ 中右:ビジターセンター 中左:フキノトウ 下:ツグミ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

釧路湿原周辺は日中、プラスまで気温が上がる日が増え、雪解けが進んでいます。道路脇の地面が見えている個所にマヒワなどの小鳥が集まって採餌している姿も見られます。また、北へ帰っていくヒシクイも見られるようになりました。ビジターセンターではスノーシューと双眼鏡を無料で貸し出しております。



【カケス】 留鳥（漂鳥）
カラス科 檀鳥 懸巢
2月に入ってようやく確認されました。カラスなどの鳴き声を真似ていました。北海道で見られるのは亜種ミヤマカケスです。



【マヒワ】 漂鳥
アトリ科 真鶺鴒
数羽の群れでハンノキの実や地面の草の実を突いている姿をよく見かけます。鳴き声は「ジクジク、ツクチューン…」など。



【ヒヨドリ】 留鳥
ヒヨドリ科 鶺鴒
全国的に見られるヒヨドリですが、温根内周辺の個体は警戒心が強いのか、姿を捉えるのが意外に難しい鳥です。



【ツグミ】 冬鳥
ヒタキ科 鶺鴒
先月までいたセグロセキレイに替わって鶴居軌道の水場でよく見かけます。そろそろ北の繁殖地へ旅立つ頃合いです。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（2月15日～3月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ツグミ■マヒワ■ハニヒワ

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆ビジターセンターがリニューアルオープンします！☆☆☆

<開館日がついに決定！>

昨年6月から始まったビジターセンター（VC）の建て替え工事も大詰めとなり、ついに新VCリニューアルオープンの日が決まりました！オープンは



平成29年4月9日（日）午前9時～です。

<館内展示が充実します！>

館内の床面積は以前の2倍ほどになり、天井も高く、広々とした空間が実感できると思います。館内展示では、釧路湿原の歴史が学習できるのはもちろん、湿原に見られるいきものや、やちまなこに関する展示も新設しました。生の自然情報を訪問者が直接書き込めるボードも設置しています。また、



木道に通じるテラスも設けられ、VCから直接、木道へ出られるようにもなりました。館内展示・設備については、次号の温根内通信でもお伝えしたいと思います。

<開館時間も長くなります！>

新VCにオープンに合わせ、より多くの方々に利用していただくため、開館時間を1時間長くします。これまで朝の開館は午前10時でしたが、4月9日からは開館開始が午前9時からとなります。（閉館時間はこれまで通り4月～10月は午後5時、11月～3月は午後4時です。）また、トイレは4月～10月の期間のみ、24時間利用できるようになります。

<レクチャールームも完備>

館内には新たに、広々としたレクチャールームも設けられました。講演会や勉強会、展示会、工作など、様々な目的で利用できます。



☆☆☆☆自然ふれあい行事 平成29年度の予定☆☆☆☆

4月

【春の足音を聴きに行こう】 定員 15名
16日(日) 10:00~12:00
釧路湿原の環境や生態系を中心に学びながら早春の木道を歩きます。現在、参加者受付中!
(温根内ビジターセンター TEL: 0154-65-2323)



9月

【秋の花を見に行こう】 定員 15名
10日(日) 10:00~12:00
今年最後の花々と、様々な果実を観察し、花のシーズンを締めくくりましょう。



5月

【春の花を見に行こう】 定員 15名
7日(日) 10:00~12:00
ようやく咲き始めた春の花を観察し、釧路湿原の遅い春を観察してみましょう。



【早朝バードウォッチング】 定員 15名
21日(日) 8:00~10:00
鳥の活動が活発な早朝、釧路湿原とその周辺に集まり始めた夏鳥を探します。



10月

【ザリガニウォッチング2~ニホンザリガニ編~】
15日(日) 10:00~12:00 定員 15名
釧路湿原に棲む絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を学び、生息環境を観察します。



11月

【地形を見て歩く! 湿原探索】 定員 15名
19日(日) 10:00~12:00
遠くまで見渡せるこの時期。普段注目しない「地形」にスポットを当てます。



【クリスマスリースを作ろう】 定員 15名
26日(日) 13:00~15:00
クリスマスの前に、自然の素材を使ってオリジナルリースを作りましょう。



6月

【初夏の花を見に行こう】 定員 15名
4日(日) 10:00~12:00
花の季節到来! 湿原を演出する可憐な花や、目立たないスゲの花などを観察します。



7月

【夏の花を見に行こう】 定員 15名
2日(日) 10:00~12:00
たくさんの花を観察し、釧路湿原の最も華やかな季節を堪能しましょう。



【ホタルの週末】
22日(土)~23日(日) 19:30~21:00
釧路湿原に棲むヘイケボタル。そのふしぎな生態を学んでから夜の湿原へと出かけます。



12月

【冬の植物を見に行こう】 定員 15名
3日(日) 10:00~12:00 定員 10名
本格的な冬を前に、植物がどのように冬を越える準備をしているのか観察します。



1月

【湿原アニマルトラッキング】 定員 15名
14日(日) 10:00~12:00
雪上に残る動物の痕跡から、冬の湿原にはどんな動物が暮らしているのか考えます。



8月

【盛夏の花を見に行こう】 定員 15名
6日(日) 10:00~12:00
盛夏の湿原で、ふしぎな植物の仕組みを観察します。熱中症対策をお忘れなく。



【ザリガニウォッチング~ウチダザリガニ編~】
13日(日) 10:00~12:00 定員: 15名
特定外生物のザリガニを楽しく釣りながら、外来種の脅威と湿原への影響を学びましょう。



2月

【歩くスキーで湿原ハイク】 定員 15名
11日(日) 10:00~12:00
歩くスキーを使って、冬の湿原とその周辺を楽しみます。初心者でもOK。



3月

【湿原の裏山でスノーシューハイク】 定員 15名
4日(日) 10:00~12:00
残雪の裏山をスノーシューで歩き、雪解けを待つ植物などを観察します。



~次号は新VC特集です~

もうすぐ新年度。来月は新VCの内容を詳しくお伝えします。指導員一同も心新たにして、自然情報を発信していきたいと思えます。



月刊 温根内通信 No.246

発行: 釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター
〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内
Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185
E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 10:00~16:00(4月~10月は17:00まで)
休館日: 毎週火曜日(12/29~1/3は休館) 入館無料